



## アメリカ大豆協会週報－6月8日付

## 国勢調査局の4月度搾油レポート概要

国勢調査局の搾油レポートは、3月から4月の1日当たりの搾油量が増加を示した。このような状況は、過去25年間で2回しか発生していない。この増加は大豆ミールの堅調な輸出ペースおよび4月末には383,000トンに達した大豆ミール在庫の蓄積によるものと思われた。大豆ミールの輸出船積みが増加している一方、記録的な輸出契約残と高い搾油マージンは、今年の夏後半に物理的大豆供給不足から搾油活動が制約されるようになるまで、搾油のペース鈍化が緩やかに進行することを示唆している。大豆ミール在庫は予想を上回った。4月の大豆ミール国内消費量は昨年比8%減、また5年平均値の4%減だった。

国勢調査局は4月の大豆油在庫を11,300トン増加させ143万トンに上方修正し、NOPA発表の在庫量により近いものとした。メチル・エステル（主としてバイオディーゼル）生産用の3月度油脂消費量は9,070トン増の112,000トンに上方修正され、4月度消費量は136,000トンと発表された。大豆油消費量が上方修正された3月の46,700トンから4月には42,000トンに減少していることから、4月の消費増加は動物性油脂に起因すると思われる。大豆油は4月度バイオディーゼル生産のわずか31%を占めるにとどまり、大豆油ベースのバイオディーゼルのマージン低下を反映していた。4月のバイオディーゼル以外の従来用途向け大豆油消費量は前年比12%減で、ここ10年来月間最低の量となった。

## オレゴン州上院委員会がB2義務化法案を可決

オレゴン州の主要上院委員会である上院環境・自然資源委員会は、8月1日より州内のガソリン・スタンドで販売されるすべてのディーゼル燃料を対象に1ガロン当たり2%のバイオディーゼル混合を義務づける法案を最近承認した。ベス・ハーゾッグ委員会運営管理官によれば、同委員会は賛成3、反対1、棄権1で上記法案HB3464Aを上院全体の議決にかけることを決定した。

ハーゾッグ氏は、同法案が「他の再生可能ディーゼル燃料に対する関心にかんがみ、2年以内に他の再生可能ディーゼルの市場および生産方法の確立も予想されるゆえ、その時点でオレゴン州はこうした他の再生可能ディーゼルに対応する法律を定めることができる」との文言を含めた微修正の後、可決されたと述べた。

同バイオディーゼル法案は上院議場での投票を経た後、下院に送られ審議される。可決されれば、下院案と上院案の相違を委員会会議にて調整した上で、同州のレッド・クロンゴスキー知事の署名を得る運びとなる。

こうした関門が残っている状況下、ハーゾッグ氏は法案議決の時期は明らかにしなかったが、6月末には議会が夏季休暇に入る予定になっている。

同法案の下では、バイオディーゼルの法定混合量は、州内のバイオディーゼル生産量が現在の700万ガロンから1500万ガロンに増加したと同州農務省が判断した時点で5%に引き上げられる。また同法案は1500万ガロンの目標が達成され、法定混合



量が B5 ディーゼル（ディーゼルの 5%）に引き上げられる時に州がディーラーや関連販売業者に通知することも規定している。

### 農業グループが地球温暖化法案に対するコメントを発表

下院農業委員会が 6 月 4 日に公表したアンケートの結果によれば、農林業グループは同委員会に対し、議会在可決するいかなる気候変動関連法案も農場や森林に排出削減の要求を課すべきではないとの意見を述べた。同委員会は、議会在検討している気候変動への諸対策に関する意見を聴取するため 3 月に 400 を超える団体に対してアンケートを送付した。200 以上の回答が寄せられた。これらの回答は 2,500 ページ超に及んでいる。回答者からの提案の一部は下記の通り。

- ・ 農業をキャップより除外するべきである。
- ・ 農業の炭素隔離に向けた取組みに見返り（報奨金）を与えるべきである。
- ・ 炭素隔離に向けて既に農業生産者が行なっている取組みに報奨金を与えるべきである。
- ・ USDA が検証に関して主要な役割を果たすべきである。
- ・ 炭素隔離のために土地の利用を止めるべきではない。
- ・ 貧困層や地方の住民には、エネルギー・コストの負担増を考慮し、さらなる支援が必要になると思われる。

大半の回答が農場や森林からの排出量規制には反対を表明した一方、多くの回答者は農林業によるオフセットを法案に含めるべきと述べた。米国農地トラストによれば、農林業は「比較的豊富な低コストの温暖化ガス排出削減の源泉になり得」、かつオフセットによって「豊富で低コストの」排出削減に寄与できる。農業関連のオフセットとして例えば不耕起栽培あるいは植林が挙げられている。

アメリカ大豆協会は「米国農業生産者、必要投入材関連で我々が依存している産業、加工業および輸送業が競争面で不利にならないようにするため」、温暖化への「慎重な取組み」を提唱した。同協会は悪影響という意味ではキャップ・アンド・トレード方式が米国農業界にとっては「最も被害が少ない」と見ている。

全米農民組合は「キャップ・アンド・トレード・プログラムは、温暖化関連法に起因する全般的なエネルギー・コスト上昇を可能な限り抑制しつつ、温暖化ガスを実質的に削減する意味で最も有望である」と述べた。さらに同組合は農業関連オフセットおよび農林業のキャップからの除外を提唱した。

米国農業会連合のボブ・ストールマン氏によれば、議会在炭素税を制定すべきではなく、またキャップ・アンド・トレード方式は自主的なものとすべきというのが同連合の見解である。また同連合は炭素削減プログラムから農林業を除外すべきであると述べた。

### 大豆コンプレックスは高値引け；旧穀のタイトな供給による価格変動の可能性あり

6 月 4 日の大豆コンプレックスはおおむね高く引けた。旧穀のタイトな供給状況が大豆コンプレックスの価格変動の基を作り、投機筋の商品に対する関心の高まりとインフレ懸念がさらにこれを助長している。中国の搾油マージンが高値大豆の入荷



によりマイナスに転じようとしており、また南米の基準価格の下落から消費抑制につながる多くの要因が発生することも考えられる。7月豆先物は\$ 17.64 上げて \$ 451.94 ; 8月物は\$ 15.06 上げて \$ 432.84 ; 9月物は\$ 13.41 上げて \$ 409.87 で終了した。7月ミールは\$ 21.49 上げて \$ 439.82 ; 8月物は\$ 17.31 上げて \$ 412.48 ; 9月物は\$ 15.21 上げて \$ 389.88 で引けた。7月油は\$ 24.03 上げて \$ 889.34 ; 8月物は\$ 23.81 上げて \$ 892.86 ; 9月物は\$ 24.03 上げて \$ 896.83 で終了した。



### U.S. & South America Soybean/Products Balance

	United States			Argentina			Brazil		
	Actual	Estimate	Proj.	Actual	Estimate	Proj.	Actual	Estimate	Proj.
	2007/08	2008/09	2009/10	2007/08	2008/09	2009/10	2007/08	2008/09	2009/10
<b>Soybeans</b>	<i>thousand tonnes</i>								
Carryin	15,617	5,580	3,531	1,876	4,460	325	3,110	4,818	2,210
Production	72,859	80,536	86,954	46,200	34,000	51,000	61,000	57,000	60,000
Imports	269	327	327	2,650	250	0	88	50	150
Crush	49,024	44,634	45,586	32,570	31,250	37,000	31,890	31,550	32,220
Exports	31,598	33,743	34,292	12,124	5,750	10,835	24,515	25,100	24,950
Other	2,543	4,535	4,672	1,572	1,385	1,650	2,975	3,008	3,075
Usage	83,165	82,912	84,550	46,266	38,385	49,485	59,380	59,658	60,245
Carryout	5,580	3,531	6,262	4,460	325	1,840	4,818	2,210	2,115
<b>Soymeal</b>	<i>thousand tonnes</i>								
Carryin	314	267	542	1,144	1,193	908	1,563	1,694	1,584
Production	38,322	35,528	36,137	25,480	24,438	28,934	24,880	24,490	24,970
Domestic use	30,078	27,578	27,941	634	650	684	12,250	12,525	12,875
Net Exports	8,291	7,675	8,196	24,797	24,073	27,858	12,499	12,075	11,790
Usage	38,369	35,253	36,137	25,431	24,723	28,542	24,749	24,600	24,665
Carryout	267	542	542	1,193	908	1,300	1,694	1,584	1,889
<b>Soybean oil</b>	<i>thousand tonnes</i>								
Carryin	1,399	1,126	1,226	310	363	400	341	505	375
Production	9,329	8,457	8,639	6,189	5,975	7,074	6,160	6,050	6,180
Domestic use	8,313	7,484	7,575	1,026	1,083	1,140	3,925	3,990	4,035
Net exports	1,289	873	1,209	5,110	4,855	5,950	2,071	2,190	2,130
Usage	9,602	8,357	8,784	6,136	5,938	7,090	5,996	6,180	6,165
Carryout	1,126	1,226	1,081	363	400	384	505	375	390

### USDA Export Sales (tmt) - Week of 28 May 2009

Country	Commodity	New Sales	Accum. Exports
Canada	Soybeans	7.3	74.6
Colombia	Soybeans	1.2	150.4
Guatemala	Soybeans	4.1	5.1
Malaysia	Soybeans	1.8	74.6
Mexico	Soybeans	47.1	2347.9
Canada	Soymeal	21.7	679.5
Greece	Soymeal	41	0
Honduras	Soymeal	1.2	94.1
Indonesia	Soymeal	3.9	63.8
Japan	Soymeal	1.0	203.0
Mexico	Soymeal	23.1	879.0
Nicaragua	Soymeal	4.1	37.4

Country	Commodity	New Sales	Accum. Exports
Panama	Soymeal	14.6	96.3
Venezuela	Soymeal	53.0	404.6
Algeria	Soyoil	3.2	30.0
Canada	Soyoil	0.3	26.2
Guatemala	Soyoil	0.8	8.7

### Export Sales Totals (tmt)

Commodity	Outstanding Sales	Accum. Exports	New Sales
Soybeans	4,442.9	29,293.4	-23.9
Soymeal	1,553.2	4,863.1	142.4
Soyoil	143.9	542.5	3.9



### Thursday Spot and Futures Prices, 04 June 2009

<i>Item</i>	<i>Location</i>	<i>July</i>	<i>Aug</i>	<i>Sep</i>
Soybeans (\$/mt)	Central Ill./Chicago	451.94	432.84	409.87
	FOB Gulf (Basis)	478.77	459.66	442.94
	CIF Gulf Coast (Basis Chicago)	475.09	455.98	439.27
Board Crush Margin	\$/mt	33.63	33.34	40.46
		<i>July</i>	<i>Aug</i>	<i>Sep</i>
Soybean Meal 48%, HiPro (\$/mt)	Central Ill./Chicago	439.82	412.48	389.88
	FOB Gulf (Basis)	489.42	462.08	467.04
	West Coast (Basis)	519.18	492.95	494.60
Soybean Meal 44% (\$/mt)	Central Ill./Chicago	439.82	412.48	389.88
	FOB Gulf (Basis)	478.40	451.06	456.02
	West Coast (Basis)	508.16	481.93	483.58
Soybean Oil, Crude (\$/mt)	Central Ill./Chicago	889.34	892.86	896.83
	FOB Gulf (Basis)	889.34	892.86	896.83
		<i>Beans</i>	<i>Meal</i>	<i>Oil</i>
1 year ago prices	Chicago, \$/mt	533.51	411.71	1381.18

### Weekly Statistics, Past Five Weeks (\$/mt)

	<i>30-Apr</i>	<i>7-May</i>	<i>14-May</i>	<i>21-May</i>	<i>28-May</i>
Nearby Soybean Futures (CBT)	393.15	404.91	421.63	431.73	433.20
Basis Central Illinois	400.50	414.10	434.49	444.59	447.90
Basis Gulf	412.26	434.31	454.70	464.80	460.76
Nearby Soybean Meal Futures (CBT)	377.54	376.66	399.36	417.99	423.06
Basis Decatur	384.15	394.29	422.18	441.14	449.52
Basis Gulf	416.12	425.16	448.97	467.60	472.67
Basis West Coast	445.88	458.23	475.42	494.05	499.12
Nearby Soybean Oil Futures (CBT)	798.51	854.94	856.27	837.31	833.56
Basis Decatur	748.90	816.36	826.50	870.38	800.49
Basis Gulf	787.48	854.94	867.29	848.33	833.56
BIFFEX Ocean Freight Rates					
US Gulf/Cont., grains basis	17.54	24.81	27.29	25.20	30.52
US Gulf/Japan, grains basis	36.40	41.77	44.76	43.19	49.68
PNW/Japan, grains basis	20.29	22.56	23.07	24.19	27.22
PNW/Japan Spread	16.11	19.21	21.69	19.00	22.46
US Corn, CBOT Nearby Futures	156.00	159.34	165.94	166.92	168.79
US Sorghum, Gulf Cash Price	155.98	156.31	162.70	165.35	162.92
Canadian Canola, Nearby Winnipeg	371.87	396.74	410.25	419.75	409.09



